

自社のBCP作成講座

～自社のBCP短期作成プログラム～

概要

災害時のマニュアルはあるけれど、実際に役立つかわからない。何から手をつけてBCPを策定すればよいかわからない。こうしたニーズの方々のために、まる1日でBCPを策定できるようにいたします。最低限のことを低予算で策定したいという入門者や初心者のために、BCPに関する知識がなくても作成できるようにいたします。

対象

BCP作成担当者

研修時間

6時間～12時間

カリキュラム例

| 内容 | 形式 |
|--|---------------------------------|
| BCPの基本的な理解 東日本大震災の実例 (弊社が関わった企業の中から事例紹介) 「BCP」と「防災」は何が違うのか？ BCPによって何をを目指すのか (BCPの先進事例・最新事例など) | 講義 + 策定作業 (演習) |
| BCP策定のステップ ①BCP策定のための視点 ②基本方針の策定(事前フォーマットに記入済み) 基本方針の策定ステップとそのポイント ③適用範囲の決定 BCPを適用する事業の選定方法と活動範囲の決定 ④リスクの想定 リスクを想定するとはどういうことか？ リスク想定の方法 ⑤復旧目標の設定 目標復旧時間の設定と目標復旧レベルの決め方 ⑥ビジネスインパクト分析 ビジネスプロセス分析とボトルネック調査 (事業継続に必要なボトルネック資源をどう見つけるか？) ⑦対応策の決定 事業継続に必要な施設、設備、材料、情報・システム、 インフラ、人、カネ、取引先等への対応策 ⑧緊急時対応体制の整備 体制メンバーとその役割、緊急時体制発動基準、安否確認(連絡体制)、行動(帰宅・参集) 基準を決めるポイント ⑨緊急時対応手順の決定 準備すべきマニュアルやチェックリストとは？ ⑩教育・訓練計画 効果的な教育・訓練方法を策定する ⑪点検・見直し計画 点検・見直しのための4つの視点 | |
| まとめと質疑応答 今後の策定フォローアップについて | |